

バイオマス(主に食品廃棄物)の有効利用サービス

D-Bio

お客様の

廃棄物の処分量削減 と **CO₂排出量の削減**

を実現します

Daigas エナジー

D-Bio導入について

■エネルギーサービス(イニシャルレスサービス)

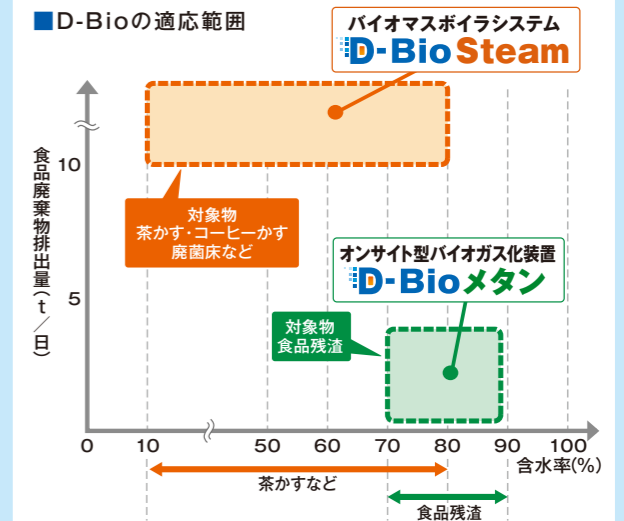


D-Bio導入適性チェック

以下の項目にご関心のあるお客様

- バイオマスの有効活用
- 廃棄物処分量の削減
- エネルギー使用量の削減
- CO₂排出量削減
- 初期投資ゼロ

D-Bioの
適応範囲に
該当している



D-Bioのwebページを公開しています

<https://ene.osakagas.co.jp/product/dbio/index.html>

右の二次元コードから
アクセスいただけます



D-Bioのサービス
概要は動画でも
ご紹介しています



Daigas エナジー

〒541-0046 大阪市中央区平野町四丁目1番2号
TEL.06-6205-4641 FAX.06-6202-2502

会社概要

<https://www.daigas-energy.co.jp/company/>

各種商材・サービス

<https://ene.osakagas.co.jp/product/index.html>

お電話でのご相談は



Daigas エナジー エネルギーコンタクトセンター

0120-563-862

平日(月~金)9:00から17:30

Daigas エナジー は、お客さまの

お客さまの経営を取り巻く環境

▶ CO₂排出量削減の動き

政府による「グリーン成長戦略」・「第6次エネルギー基本計画」発表など、SDGsやパリ協定を境に、時代は脱炭素へ向けて急激に動き出しています。RE100加盟企業は増加しており、その取引先に対しても、CO₂排出量削減の取組みを求める動きが強まっています。



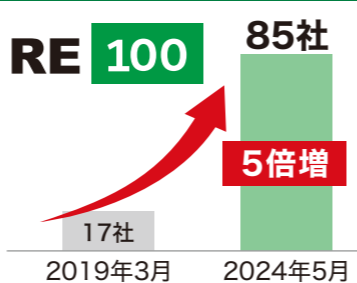
▼ グリーン成長戦略

政府は、2050年に
**CO₂排出
実質ゼロ**
を表明

▼ 日本政府の地球温暖化対策推進本部

2021年4月22日に菅首相が表明したCO₂削減目標
2030年に日本は2013年比
▲46%の目標
▲50%に挑戦

▼ RE100加盟企業の増加



※RE100(100% Renewable Electricity)。事業で使用する電力の再生可能エネルギー100%化にコミットする協働イニシアチブ

▶ 施設から出る食品廃棄物の有効利用の加速化

大企業及びサプライチェーン全ての企業は、バイオマス資源をより一層有効利用し、地球温暖化の防止、循環型社会の形成などの課題解決に寄与することを求められています。



▼ バイオマス活用推進基本計画（農林水産省）

■ 廃棄物系バイオマスの利用率(抜粋)※1

バイオマスの種類	利用率	
	現在(2021年4月時点)	2030年の目標
食品廃棄物	58%	約63%
下水汚泥	75%	約85%
家畜排せつ物	86%	約90%
製材工場等残材	98%	約98%

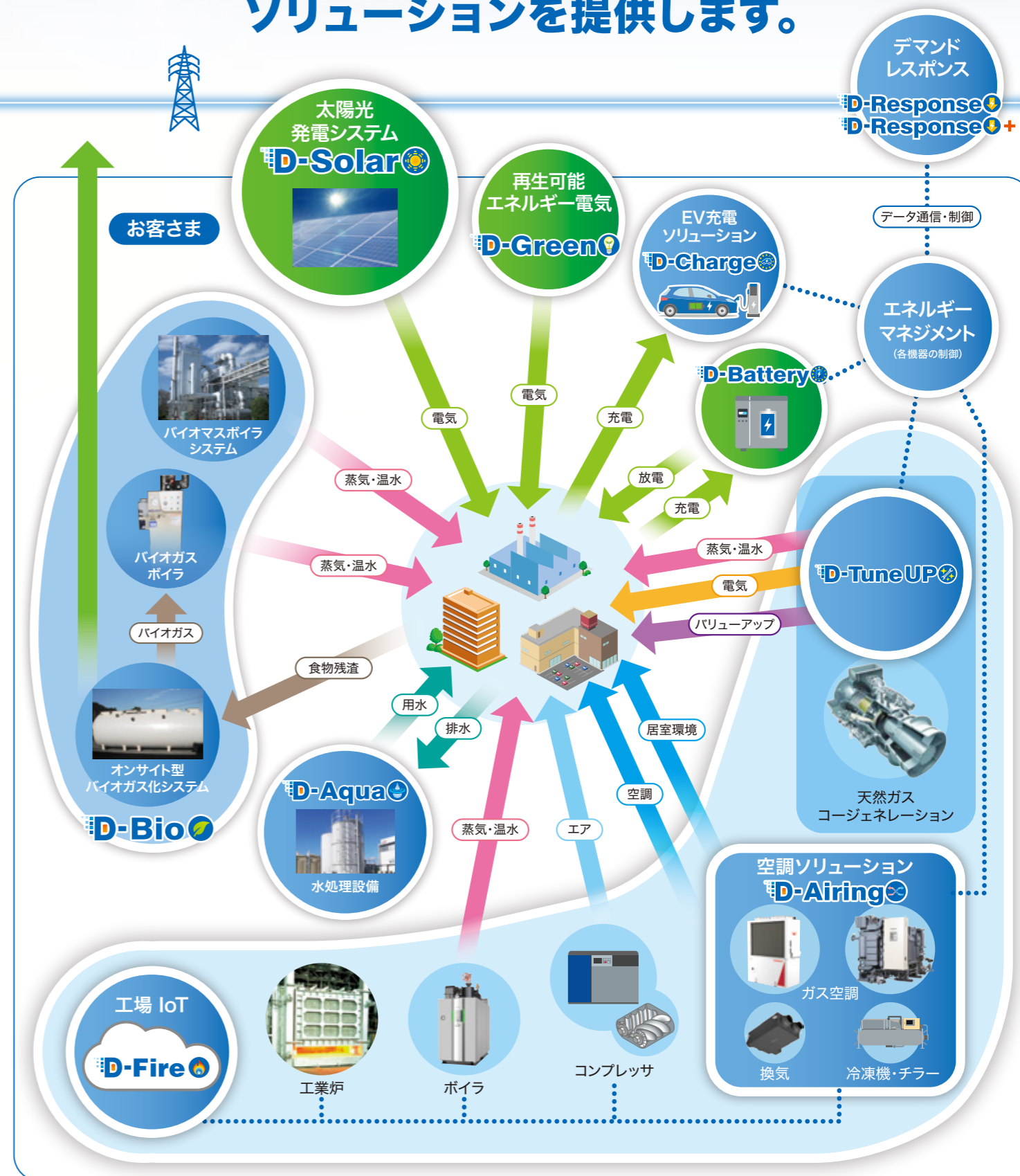
- バイオマスの種類毎に利用率の目標値を設定
- 特に、利用率の低い食品廃棄物の利用率向上を要請

※出典 農林水産省HP

さまざまな経営課題を解決します

Daigasエナジーは、2020年4月に業務用・産業用のお客さまに対するエネルギーや各種サービスの営業機能を大阪ガスから移管し、誕生しました。

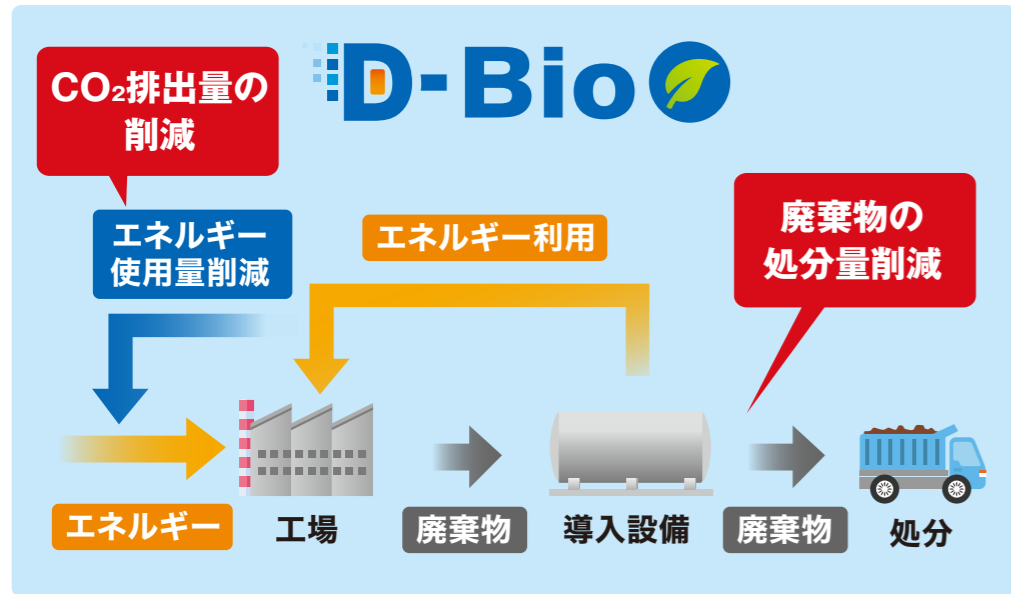
企業の様々な経営課題に対し、Daigasグループが手掛ける広範囲な事業の経験や知見を活かし、**安心安全なエネルギーと幅広いニーズにお応えするソリューションを提供します。**



廃棄物の処分量削減とCO₂排出量の削減をD-Bioで実現します

D-Bioとは……

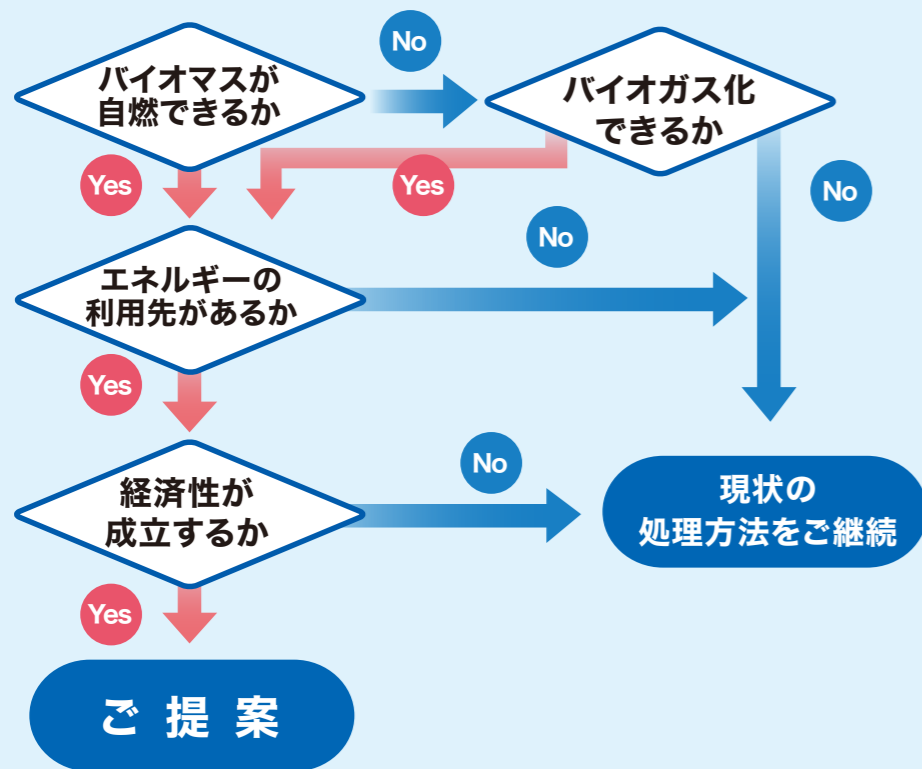
廃棄物の有効利用による処分量の削減とCO₂排出量を削減するサービスです



- お客さまが外部へ処理を委託している食品廃棄物などのバイオマスをお客さまの施設内でエネルギーとして有効利用します。
- 初期投資ゼロでご利用いただけるエネルギーサービス※1もご用意しています。

※1 ご契約に際しては弊社所定の審査が必要となります。

D-Bioご提案における評価フロー



- バイオマスの性状毎に適切な処理方法を選定します。
- お客さま施設のエネルギー利用状況を基に、バイオマスから得られるエネルギーの利用可否を判断します。
- 技術面と経済性の観点で、設備の導入可否を評価します。

ご提案商材



オンサイト型バイオガス化システム



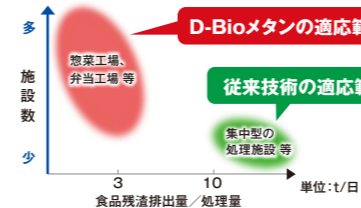
オンサイトで食品残渣からバイオガスを発生させ、蒸気回収やコージェネレーションのための燃料として活用することで、CO₂を削減します

適応範囲

小規模に適している

食品工場の多くは食品残渣排出量が3t/日以下ですが、従来技術は10t/日以上が対象であり、食品工場は適応範囲外でした
→D-Bioメタンは、3t/日以下に適しています

■食品残渣排出量/処理量と、施設数の相関



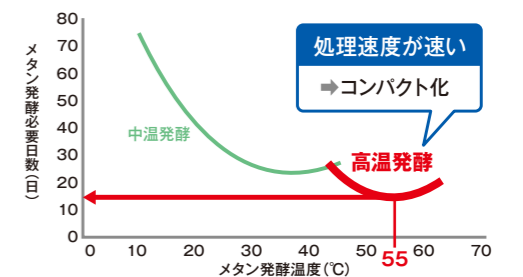
特長

メタン発酵を行うタンクのコストダウンとコンパクト化

- FRP製の汎用タンクを利用しコストダウン



- 高温発酵により、処理物のタンク滞留日数を短縮しタンク容積をコンパクト化



メタン発酵温度とメタン発酵必要日数 出典:バイオガス化マニュアル(社)日本有機資源協会(H18年8月)

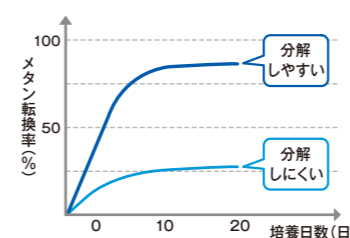
Daigasエネルギーの強み

簡易にバイオガス化の可否を判定

お客さまの施設から発生する食品残渣のバイオガス化試験を実施します

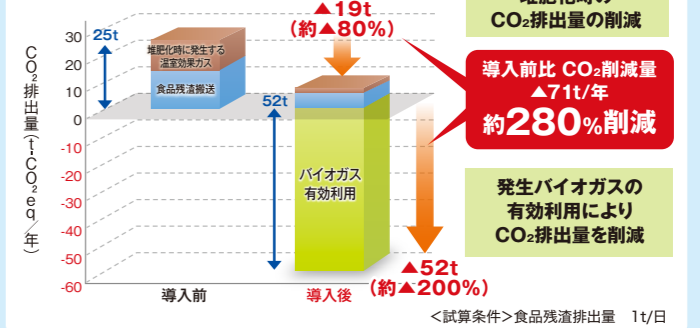


■試験結果例



CO₂削減効果

■食品工場A社さまの事例



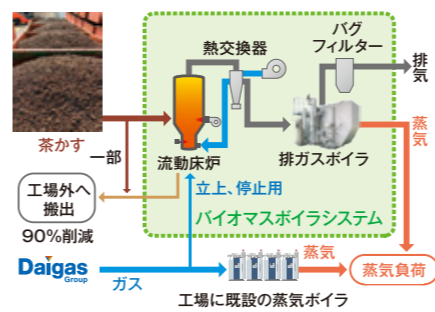
バイオマスボイラシステム



オンサイトで茶かすなどをバイオマス燃料として燃焼させ、蒸気を回収することでCO₂を削減します

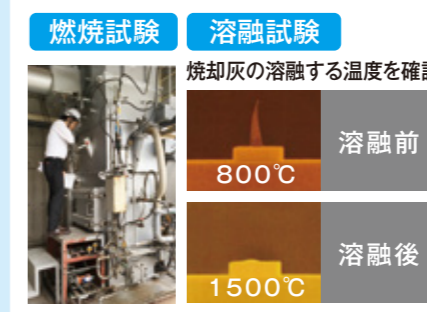
特長

伝熱効率の高い流動砂と一緒にバイオマス燃料を燃焼させることで、助燃無しに安定した燃焼が可能



Daigasエネルギーの強み

熔融・ガス化してバイオマス燃料として使えるか、安定した燃焼炉内温度を保持できるか、等を試験。



CO₂削減効果

■食品工場B社さまの事例

